

第65回日本小児保健協会学術集会 ミニシンポジウム 3

新型タバコの子どもへの影響

受動喫煙・誤飲など新たな危険が迫る

齋 藤 麗 子 (十文字学園女子大学健康管理センター)

[座長として]

わが国の成人の喫煙率が少しずつ減少し、また東京都では子どもを受動喫煙から守る条例制定など、タバコの子どもへの危険が今後減少することが期待されている中で、この数年では新型タバコという新たな危険が子どもたちに迫っている。このシンポジウムでは特に加熱式タバコについて、煙ではないエアロゾルの成分とその周囲への害、人々の認識、販売側の売り込みの激しさなどを話題にして、子どもにかかわる職種の者が新型というネーミングに騙されないような知見を3人のシンポジストによって提供したい。

[演者として]

新型タバコにはフレーバーなどの液体を充てんして加熱しエアロゾルを吸う電子タバコと、小さな容器にタバコの葉がぎっしり入り、火を使わず加熱して蒸気を吸う加熱式タバコがある。

電子タバコ



フレーバーなどの液体を充てん
日本ではニコチン液は不許可
個人輸入のニコチン液を誤飲した場合は
吸収が早く重症化

電子タバコのカートリッジの充てん液にニコチン液を使うと、子どもの口に入った場合は重大な健康障害となる。先行していた米国では、小児の誤飲事故は2012年14例、2015年223例と報告され、2歳未満が44%で死亡例もあった。わが国ではニコチン液は販売されていないが、個人輸入で手に入れる方法もある。ニコチンが入らないカートリッジの場合はニコチン依存の喫煙者には魅力が少ないであろう。ただ、いろい

ろなフレーバーの香りは化学物質過敏症の人にはとてもつらいものである。

電子タバコのカートリッジ誤飲 2016年11月号
日本小児科学会誌より

- 電子タバコは専用のカートリッジを使用
- 電熱線で加熱し発生する霧を吸入 火は使用せず
- カートリッジにはポリビレングリコールを含む
- ニコチン液を使用することもある(米国)
- 小児の誤飲事故は2012年1月14例、2015年4月223例
- 2歳未満が44% 重症化、死亡例あり (米国)
- 日本ではニコチン入りは個人輸入で入手できる



加熱式タバコ



蒸気の中に有害物質含む
小さな容器にタバコの葉がぎっしり入り
容器が小さく子どもの口に入りやすい
害がないと誤解し子どものそばで吸う危険

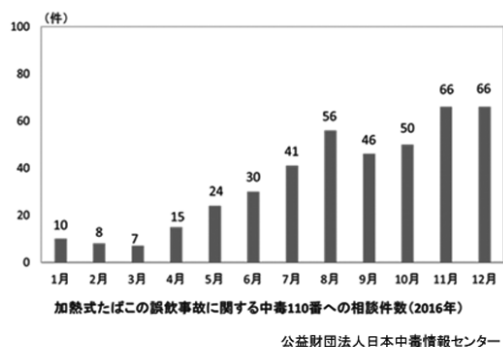
加熱式タバコはわが国では3社が販売促進していて、若い人に急速に広がっている。さらに最近では女性向けとしてかわいらしい充電器にデコレーションしている物まであり、新しい物好きの女性を誘っている。

女性向けアイコス®



過熱式タバコの販売の増加とともに中毒110番へ誤飲事故に関する相談が急増している。2016年一年間で419件の相談があった。

タバコの葉が詰め込まれているカートリッジは、紙巻タバコより小さく、子どもの口に入る大きさである



日本小児科学会 injury alert より 加熱式タバコの誤飲

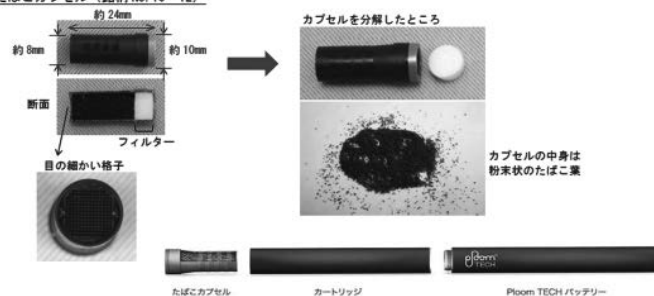
日本小児科学会誌
2016年11月号

- ・9か月男児 自宅リビング
- ・父が本児の出産を機に加熱式タバコに変更
- ・テレビ台40cmの上にスティックの箱が空いた状態
- ・母が気づいたときにはフィルターのみが口に残っていた
- ・救急外来で顔色不良で点滴, 胃洗浄にてタバコの葉を回収
- ・一本を食べたもよう 入院にて経過観察
- ・翌日退院, 今回が2回目の誤飲 2016年5月

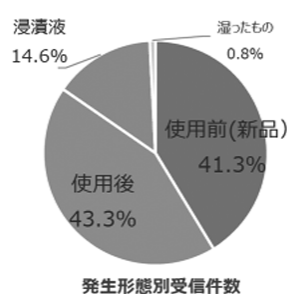
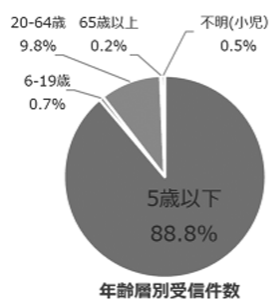
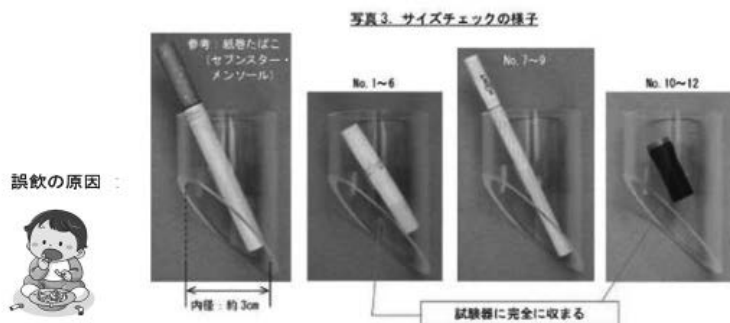


加熱式 Ploom TECH(JT日本たばこ)

たばこカプセル (銘柄 No. 10~12)



誤飲チェッカー (32~39mm)



加熱式たばこに関する中毒110番への相談の内訳

ことは母子健康手帳に記載されている誤飲チェッカーで確認できる。そのため従来のタバコの葉よりも粉状の形態が危険を増している。

誤飲事故事例は、日本小児科学会 injury alert によ

ると2016年5月にはすでに報告されていた。9か月男児で1本食べて顔色不良となり胃洗浄, 点滴, 入院で経過観察となった。

国民生活センターの報告でも2016年に受診した事例

が8件あった。そのうちの4件を以下に示す。

煙が出ないとしても蒸気にはさまざまな有害成分が混ざっているし、さらに吸引した後の呼気にも有害成分が含まれている。そのため子どもの近くでの使用は避けねばならない。

販売側が加熱式タバコは害が少ないというような誤

解を与えるCMを流し、最近は禁煙の場所でも加熱式はOKという表示の店も見受けられる。東京都の子どもを受動喫煙から守る条例では、加熱式タバコも従来の紙巻タバコと同様の扱いとなって禁煙区域では使用禁止とされている。

紙巻タバコと同様に加熱式タバコも子どもの受動喫

加熱式タバコの事故事例(国民生活センター)

1	2016年9月	男児 1歳3か月	口からたばこの葉を出しているのに母親が気づく 2cm食べたのち、葉と茶褐色の嘔吐物、心配になり受診
2	2016年12月	男児 9か月	父の加熱式タバコの吸い殻を割って口に入れた すぐに口から極き出した
3	2016年12月	男児 1歳	ゴミ箱の加熱式タバコを舐めていた茶色に変色 母が救急車を要請、経過観察
4	2017年6月	女児 1歳	葉っぱの部分全部口の中に入れていたので、手で取り出す 1時間後グッタリ、ふらふらするようになり、救急要請



電子タバコ

煙と誤飲を防止するには使用しないことである。子どもにかかわる者としてはそのあたりを正しく理解して人々に知らせていかねばならない。

演題発表に関連し開示すべき COI 関係にある企業等はありません。